

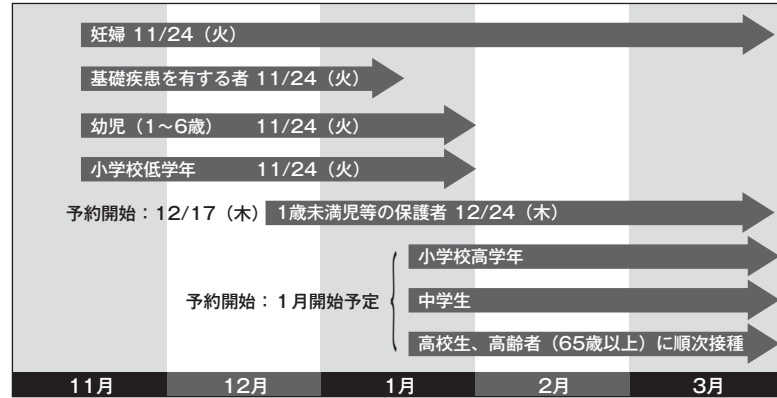
新型インフルエンザ ワクチン接種について

ワクチン接種には、重症化を抑制する効果が期待できます

優先的に接種できる方々と接種スケジュール

新型インフルエンザワクチン接種が始まりました。優先的に接種できる方と接種のスケジュールは以下のとおりです。

■インフルエンザワクチン接種スケジュール



※平成21年11月11日現在における国の出荷スケジュール等に基づく予定です。国の方針等の変更により、今後変更されることがあります。
※妊婦の方で、保存剤が添加されていないワクチン接種を希望する方は、産科または産婦人科での接種になります。

接種費用とその助成について

■接種費用

接種費用は実費となります。

1回目	3,600円
2回目	2,550円

2回目の接種が1回目と異なる医療機関の場合は3,600円

■接種費用の助成

生活保護世帯及び市町村民税非課税世帯の方で、上記の優先接種の対象者には接種費用を下田市で助成をいたします。

「費用助成対象者認定書」を交付し、医療機関に提出することで、費用負担なしで接種を受けることができます。

助成の対象となる方で、接種費用を支払ってしまった場合には、「新型インフルエンザ予防接種済証」と「領収書」を保管しておき、健康増進課健康づくり係までお問い合わせください。

接種場所について(市内各医療機関) 接種時期となった方は、医療機関予約の上、接種を受けてください。

■初めての方でもワクチン接種が受けられる医療機関

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
荒木内科小児科医院	220522	伊豆南クリニック	255700	いなぎさ診療所	283111
菊池医院	222128	渋木医院	234141	下田クリニック	272749
下田ヒフ科クリニック	254055	しらはま中央クリニック	273700	鈴木外科胃腸科医院	223387
ふれあい野山クリニック	238800	松本医院	220855	横山クリニック	233113

■かかりつけの方のみワクチン接種が受けられる医療機関

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
伊豆下田病院	222901	白井医院	221221	小川クリニック	223210
河井医院	220028	佐倉医院	270001	下田温泉病院	225001
鈴木クリニック	252562	西川クリニック	232300		

問合せ先 健康増進課健康づくり係 ☎22217 賀茂保健所相談窓口 ☎24230

提示書類について

接種を受ける時には、下記の書類を医療機関に提示してください。

■主な提示書類リスト

基礎疾患を有する者	「優先接種対象者証明書」(かかりつけ医にて発行)
妊婦	「母子健康手帳」
幼児(1歳~就学前)および小学校1~3年生	「母子健康手帳」または「各種健康保険被保険者証」
1歳未満児等の保護者	「母子健康手帳」、「各種健康保険被保険者証」または「住民票」
優先接種対象者のうち、身体上の理由で接種できない者の保護者など	「優先接種対象者証明書」(かかりつけ医で発行)、「各種健康保険被保険者証」または「住民票」
小学校4年生~高校生に相当する年齢の方	「各種健康保険被保険者証」、「学生証」または「住民票」
高齢者(65歳以上)	「各種健康保険被保険者証」、「運転免許証」または「住民票」

下田市の財政は大丈夫? 「健全化判断比率」

財政の健全化が必要かどうかを判断する新たな指標を整備し、公表することで、比率が悪化した団体に早期に財政の健全化を促すための法律「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が一部施行され、平成19年度決算から4つの健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)と資金不足比率を算定し、公表しています。

健全化判断比率

(単位: %)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
下田市	-	-	16.7	137.0
早期健全化基準(下田市の場合)	14.41	19.41	25.0	350.0

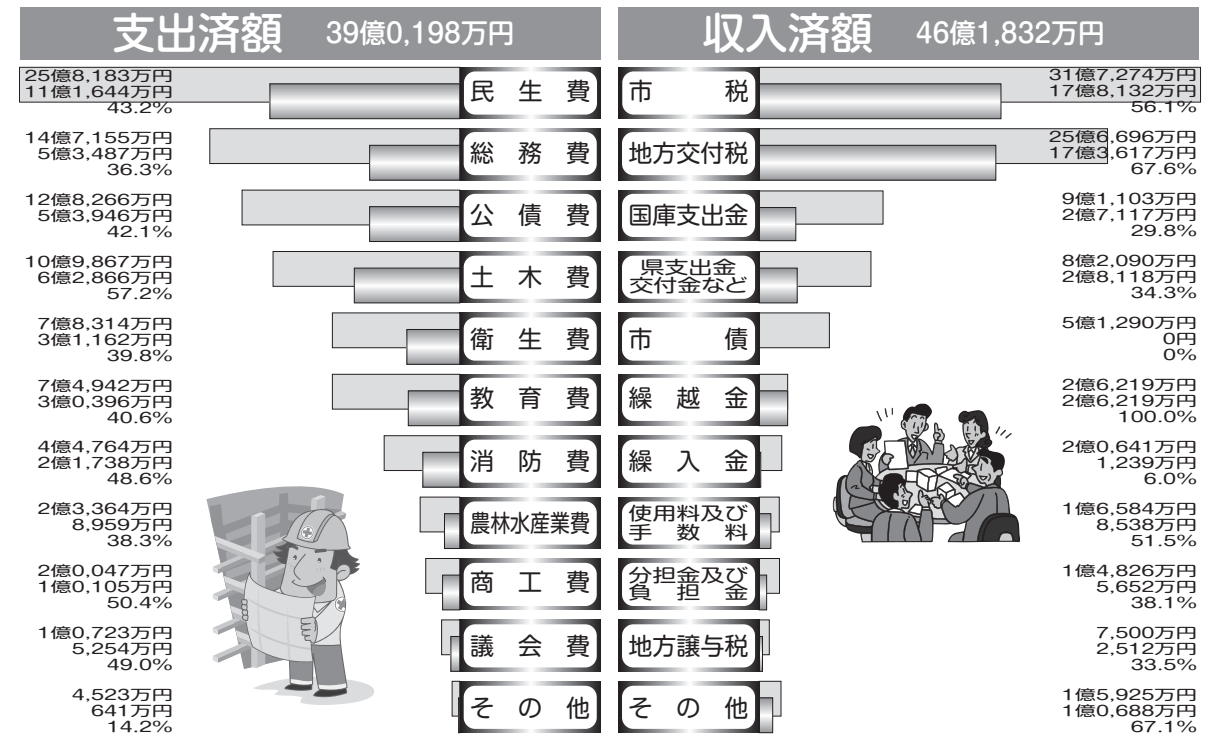
※実質赤字比率および連結実質赤字比率は黒字のため、「-」で表示しています。

【用語の説明】

実質赤字比率	一般会計等の実質赤字の標準財政規模に対する割合	実質公債費比率	公債費および法令により準ずる公債費が標準財政規模に占める割合
連結実質赤字比率	全会計を合算した実質赤字額の標準財政規模に対する割合	資金不足比率	公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する割合 ※下田市では、対象となる水道事業会計、下水道事業特別会計、集落排水事業特別会計に資金不足額はないため、算定されません。
将来負担比率	一般会計等が将来的に負担すべき実質的な負債額の標準財政規模に対する割合 ※「標準財政規模」標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模		

一般会計 予算額90億0,148万円

【凡例】
項目 予 算 額
収入(支出) 執行 率



特別会計及び事業会計

特別会計名	予算額	収入済額	支出済額
稲梓財産区特別会計	184万円	150万円	15万円
下田駅前広場整備事業特別会計	1,179万円	1,110万円	157万円
公共用地取得特別会計	4,017万円	0円	0円
国民健康保険事業特別会計	34億8,161万円	14億5,623万円	14億5,392万円
老人保健特別会計	1,567万円	468万円	443万円
介護保険特別会計	18億8,844万円	8億2,258万円	7億7,539万円
後期高齢者医療特別会計	2億8,301万円	1億0,636万円	7,215万円
集落排水事業特別会計	1,655万円	898万円	655万円
下水道事業特別会計	14億8,123万円	5億7,600万円	5億3,968万円
水道事業会計	13億4,070万円	3億5,479万円	2億8,512万円

平成21年度 上期 財政状況